



第10章

奇跡と例え話



もう何日食  
べてないん  
だろう。

我慢してネズミ  
かゴキブリでも  
食えよ。生きて  
いたければな。

たぶん、俺が一番  
最初に死ぬだろうな。  
一年前は、暮らしも  
裕福で社会でも評判  
が高かったのに、今  
じゃこの有様だ。

今やお前も落ち  
ぶれた、ただの  
らい病患者、は  
み出し者さ。

最初の頃は、いつか病気も  
治って、妻や子供達と暮らせる  
ようになると希望も持っていたが、  
もう10年さ。病が完治し社会に  
戻っていった者なんて、見たこ  
とも聞いたこともない。

まったくだ。同情するぜ。  
俺達を気に掛けてくれる奴なん  
て誰もいない。神にさえ見捨て  
られているんだ。さあ、食物  
を探しに行くとしよう。

初めは、妻も子供達を連れて  
会いに来てくれて、距離を置いてたが話  
すことも出来た。しかし、その機会もだ  
んだんと減り今じゃ来てくれなくなった。  
子供達も大きくなっただろうなあ。俺を  
見ても父親だと気付きもしないだろうよ。  
死ぬより辛いことだ。

今日は街道まで  
行ってみよう。誰  
かが俺達に哀れみ  
を示してくれるか  
もしれないぜ。

みんなで一緒  
に行動する方が安  
全だ。あそこに他  
の奴らもいるぞ。





街道を誰かが  
やって来るぞ。



気をつcker!  
また、あのガ  
キ共だ!

あっちへ行け!  
汚い奴らめ!ど  
こかでのたれ死  
んでしまえ!

きたない蛆  
虫共め!罰  
当たりだ!

逃げろ!  
逃げろ!



汚れてるんだ!どうせ俺  
達はみんな汚れてるんだ!

らい病患者だ!  
近寄ると病気を  
うつされるぞ。



どうかお情けを。  
少しでもいいから食  
べ物を恵んではも  
らえないだろうか。

何でもいから  
渡して、早  
く彼らを追い  
払ってよ!

下がれ!  
汚らしい!



下がっているよ、  
ここに食べ物物を置  
いてやるから。

よ〜し、近寄  
るんじゃないぞ。  
まず、俺が離れ  
るからな。





パンだ!パン!!

少し残しておいてくれよ。

食べ物だ!

全部取るな!



俺の物だ!

お前はブタか!

神よ!

パンだ!




大勢の人がこっちに来るぞ。

人数が多い時は気を付けないと。


男ばかりの集団のようだな。





あれはナザレのイエス様じゃないか。病気になる前に一度だけ見かけたことがあるんだ。


彼は病を治すことができるんだ。神はイエス様に権限をお与えになったし、神とイエス様は一つだ。目の見えない人や、身体障害者の手足を治すところを俺は見ただ!



イエス様、お助けください!

師匠、彼らはらい病患者ですよ。

近くに来させるんじゃないぞ。




私にどうして欲しいのですか?

どうかお情けを、私どもの病を癒してください。

出来ることなら、私達をきれいにしてもらいたいです。

イエス様、私に触れてはなりません。

大丈夫ですよ。神殿に行ったら司祭に見てもらいなさい。司祭は、あなた方の病は完治したとみて家族の元へ帰ることが出来ますよ。



私達はもう汚れていないとイエス様は言っておられる!

神殿に近づくまでに追い払われるわ。

俺はイエス様の言うことを信じるぞ!

俺もお前と行くよ。さあ、行こう!





イエス様は、俺達は治るとおっしゃったんだ。



気分も良くなったぞ。



変化してきている!



俺の皮膚が元にもどっている!

イエス様、あなたは完璧です!

お前、もう醜くないぞ!

妻を捜してごなくては!



神の息子よ、イスラエルの王よ...あなたに栄光を!あなたは私の人生を取り戻して下さいました。神はなんと慈悲深く偉大なのでしょう!

10人すべて完治したはずだが、礼を言いに戻ったのは一人のみ。しかも、彼はユダヤ人ではなくサマリヤ人だ。



# 永遠の命

一人の男がイエスに、神の国へは皆が行けるのかと尋ねた。イエスはこう答えた。

教えてあげましょう。神の国に入るのは難しく、しかも入り口は狭く少数の人しか見つけることが出来ません。しかし、破滅へと続く道は広いので、人々は殺到し永遠の地獄へ向かうのです。

神の国へと続く門は非常に狭く、多くの人在那里へ行こうとしますが、辿り着くのは非常に困難で失敗します。そして神の制裁が下される時、多くの人には神にひれ伏して言うのです。「主よ、私はあなたを心から信じております。私はとても信仰深く、断食も祈りも神殿への寄付もしました。わたしは、あなたの御名によって預言をし、悪を追い払いました。」

そこで、私は言うのです。「私はあなたを知らない。私から離れなさい。あなたは永遠に地獄の火の中で苦しむのだ。歯軋りしながら嘆くが良い。」

そこは魂の死などなく、炎も決して消え去ることのない場所だ。炎の中で苦しむ人々の煙が延々と立ち上るだろう。



イエスは別の話を語った。

ある処に、毎日着飾って豪華な食事をしていた金持ちの男がいました。彼は誠実さや公正さも持ち合わせていたが、自己中心的でありました。

金を貯めては、益々金持ちになっていきました。

テーブルの上の残り物は、門の前にいる物乞いにやりなさい。私は思いやりのある善意の固まりのような男だからな。

仰せの通りでございます、ご主人様。外にいる物乞いも感謝しますでしょう。

ご主人様が、この残り物のパンくずを下さるとさ。

神様、感謝致します。神のおかげでございます。十分な施しを頂きまして、どうぞご主人様に御礼を申し上げます。


私の莫大な富は、大きな倉庫でも作らねば入りきらないな。

愚か者！今宵、お前は死ぬのだ。魂をいただくぞ！

ぐぐっ…

「人間には、一度死ぬことと死後にさばきを受けることが定まっている」






この金持ちの葬儀の行列が彼の邸宅を出て行く時、物乞いのラザロも死んでいました。

物乞いのラザロじいさんだ。彼も宵の内に死んだんだ。死に顔は穏やかそうだ。

ラザロの遺体は手押し車に乗せられ、動物の死体焼却場へ運ばれました。葬儀は勿論のこと、誰一人として彼の死を嘆き悲しむ者はいませんでした。




しかし、天使が降りて来てラザロを天国へ連れて行きました。

ラザロ、我が兄弟よ。ようこそ。あなたはもう、二度と飢えることもなく身体も痛むことはありません。さあ、こちらへ。食事の席を用意しておきましたよ。


おお、なんと心地よい乗り心地！死んだにも関わらず、こんなに愉快的な気持ちになれるなんて考えもしませんでしたよ。

金持ちの男は美しい墓に丁寧に埋葬され、彼のお金を愛した人々は遺言に何を残したか興味深々でありました。



彼は実に良い人間でした。自分が愛していた人に対して時には厳しい扱いをしたが、しかし私達は彼が民族を愛し、その振る舞いは誠実であったことだけは覚えておきましょう。

彼は報いにより世を去りましたが、どうか彼の魂が永久に安らかでありますよう……。



しかし、男は自分が死んで底の見えない穴の中へ落ちてゆくのが分っていました。





助けてください！  
神よ、誰か、助けてくれ～！俺はここだ！この火の中にいるんだ！



我が父祖アブラハム、どうか私にお情けを！そこにいるラザロに、炎の中で苦しんでいる私を助けろと伝えてください。

息子よ、出来ることならば助けてやりたいが、我々の間には炎の海のような大きな裂け目があり、私には渡ることが出来ぬのだよ。そして、お前もこちら側に来ることは不可能だ。

それならば、ラザロを私の父の家へ使いに出し、私の5人の兄弟達にこんな苦しく恐ろしい場所に来ないように伝えてください。

彼らはモーゼや預言者たちの書を持っておるだろう。聖書を信じているならば心配無用だ。

いいえ、それでは不十分です。誰かが死んで生き返り、その奇跡を見れば彼らも不信心を悔い改めることでしょう。

彼らが聖書を信じない限り、たとえ誰かが生き返ったとしても納得しないであろう。彼らが自分で決めることだ。残念だが、私にはどうすることも出来ないんだよ。





あ～ら、お兄さん方、楽しんで  
いかない？安く  
しておくわよ。

先生、無視  
しましょう。彼  
女の様な者を  
救うには手遅  
れです。



聖書に「姦淫をし  
てはならない」と書い  
ています。

失礼ね！これ  
でも私は神を  
信じているし、  
信心深いと思  
っているわ。

いいえ、あなたは  
悪魔に惑わされていま  
すよ。あなたの行く先  
は炎の地獄です。



あなたのお連れ  
の言う通り、もう私は救わ  
れないかもね。子供の頃  
から色々な男の相手をし  
ているんだもの。

神にとって、遅すぎ  
るということはありませんよ。  
神を求め、神を受け入れるの  
です。神はあなたの罪を赦し、  
あなたの魂を救って下さ  
るでしょう。



私の魂は悪魔の  
ものよ。でも、もし  
私が神を、もし神  
を…神…

**ぎやああああ～！**

悪霊に取り  
つかれて  
いる！

**下がれ！**





ひiiiiiiii~!

悪魔よ、  
出て来い!



お前に命ずる、  
彼女から出てゆけ!

イエスがそう  
命じた時、七体の  
悪魔は女の身体か  
ら出て行った。



もうあなたは  
自由ですよ。

あなた  
は?

私はイエ  
スです。

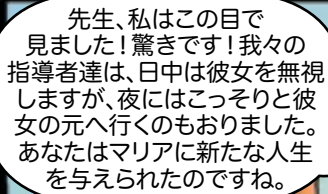


罪を悔い改め、神を  
礼拝せよ。そうでなければ、  
もっと酷い悪魔が戻って来て、  
あなたを支配するでしょう。

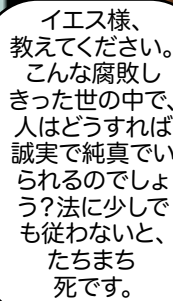
神にお仕え  
いたします。  
あなたに従  
い学びます。

どうなっ  
ているんだ?

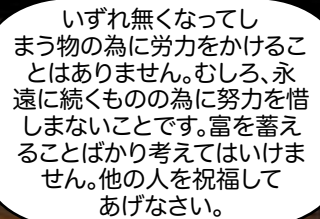




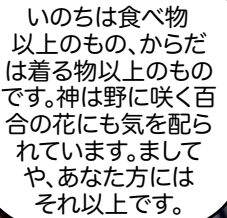
先生、私はこの目で  
見ました！驚きです！我々の  
指導者達は、日中は彼女を無視  
しますが、夜にはこっそりと彼  
女の元へ行くのもおりました。  
あなたはマリアに新たな人生  
を与えられたのですね。



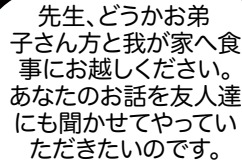
イエス様、  
教えてください。  
こんな腐敗し  
きった世の中で、  
人はどうすれば  
誠実で純真でい  
られるのでしょ  
う？法に少し  
も従わないと、  
たちまち  
死です。



いずれ無くなってし  
まう物の為に労力をかけるこ  
とはありません。むしろ、永  
遠に続くものの為に努力を惜  
しまないことです。富を蓄え  
ることばかり考えてはいけま  
せん。他の人を祝福して  
あげなさい。



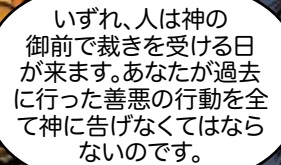
いのちは食べ物  
以上のもの、からだ  
は着る物以上のもの  
です。神は野に咲く百  
合の花にも気を配ら  
れていきます。まして  
や、あなた方には  
それ以上です。



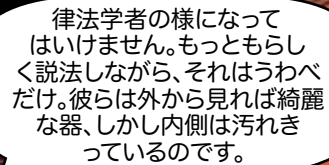
先生、どうかお弟  
子さん方と我が家へ食  
事に越してください。  
あなたのお話を友人達  
にも聞かせてやってい  
ただきたいのです。



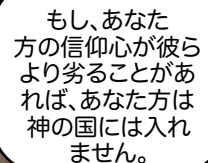
喜んで。



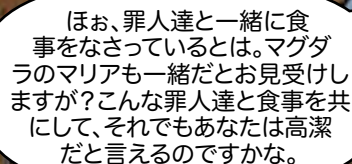
いずれ、人は神の  
御前で裁きを受ける日  
が来ます。あなたが過去  
に行った善悪の行動を全  
て神に告げなくてはなら  
ないのです。



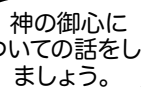
律法学者のようになって  
はいけません。もっともらし  
く説法しながら、それはうわべ  
だけ。彼らは外から見れば綺麗  
な器、しかし内側は汚れき  
っているのです。



もし、あなた  
方の信仰心が彼ら  
より劣ることがあ  
れば、あなた方は  
神の国には入れ  
ません。



ほお、罪人達と一緒に食  
事をなさっているとは。マグダ  
ラのマリアも一緒だとお見受けし  
ますが？こんな罪人達と食事を共  
にして、それでもあなたは高潔  
だと言えるのですか。



神の御心  
についての話をし  
ましょう。





ある一人の男がいました。彼には二人の息子がおり、弟の方は反抗的で気ままに楽しい人生を送りたがっていました。

あー、この話好きだ。



そこで、弟は父親の遺産を今すぐ欲しいと要求したのです。

父上、私にこの農地の私の分前を下さい。私は都会へ行き、もっと稼いできます。

何もそんなに急かなくとも、私の遺産はお前達物だ。もう私も先は長くはないだろう。ゆくゆくは兄さんとお前の物になるんだ。生活するだけの十分な金はあるし、沢山の羊や牛もいる。畑には毎年、穀物も実る。召使いだって十分いるではないか。それに……

でも、私はここから出て世界を見てみたいんだ！農場なんかであくせく働いて一生を終わりたいくない。若いうちに楽しみたいんだよ！俺の友達なんかも……

お前の友達だと？奴らは、どの馬が速いの、どのワインが一番美味しいかの、どこの女が面白いの、そんな事ばかり考えているじゃないか。

好きなようにさせてやればいいんですよ、お父さん。彼がいなくても、我々はやっていきますよ。どのみち、彼がいても役には立たないんですから。

父上に人生が語れるのかい？こんな田舎の古い農場で、一生我慢して……。分け前をくれ！都会で自分の人生を見つけてみせる！



父親は、息子に遺産を分け与えた。そして彼は楽しみを見つける為に都会を目指して大きな海を渡って行った。

さあ、これに俺に指示する者は誰もいないぞ。



その頃、家を出た息子は……

うわあ、こりゃあ  
思っていたより素晴ら  
しい所だぞ。人といい、  
建物といい、素晴らし  
いや。面白いことが  
待っている気が  
するぞ。

まずは住  
む処を探さな  
くては。

気に入った、  
借りるよ。

御用の節は何  
なりとお申し付け  
ください。昼夜問わず、  
お仕えます。

さ～て、次は  
どうするかな。明日  
は外出して人に  
会ってみよう。





ちょっと見て!都会は初めてと見えるわね。田舎者だけど男前じゃない?

お~い、君!楽しいことを探してるんなら、まず髭を剃ってマシな服を着なよ。



悪くないぜ、流行の服も似合ってるし…。



ようこそ、夕食の席へ。歓迎するぜ。

髪を整えたら、いい男になったじゃない?



我らの仲間に乾杯!彼に幸多かれ!

そして、愛もね。



ウェイター、俺の友人達にワインの御代わりだ!





ねえ、二人だけであなたの家に行きましょうよ。



そして、次男は、家から遠く離れた都会で何ヶ月も贅沢をして暮らした。金がある限り友人にも恵まれた。

彼の馬鹿げた楽しみとやらで、彼の金も底を尽きる時が来た。しかし、未だ彼には金持ちの友人達がいた。



金がない？ どういうことだい？ お前は金持ちだったはずだろ？

そのお～、君のお父さんに頼んで、どこか働く所を紹介してもらえないかと…

それが…その…都会に住むには金がかかる上に、先週ギャンブルで残りの金を使っちゃったんだ。賭けで倍にする自信はあったんだが…。



すっからかんになったってこと？ ドレスを買ってくれるって言ったじゃない！

仕事？



ちくしょう！ こんな不潔な所で、汚らしい豚どもにエサやりとは情けないぜ。

友達だと思ってた奴らは、今じゃ話しかけてもくれない。その内、もっとマシな仕事を見つけて見返してやるさ。

ブー

ブー

ブヒー





お前が具合が悪かるうが俺の知ったことじゃない。早く行って、豚の世話をしなないとクビにするぞ！お前の代わりなど掃いて捨てるほどいるんだからな！

分かりました、すみません。今すぐ行きます。

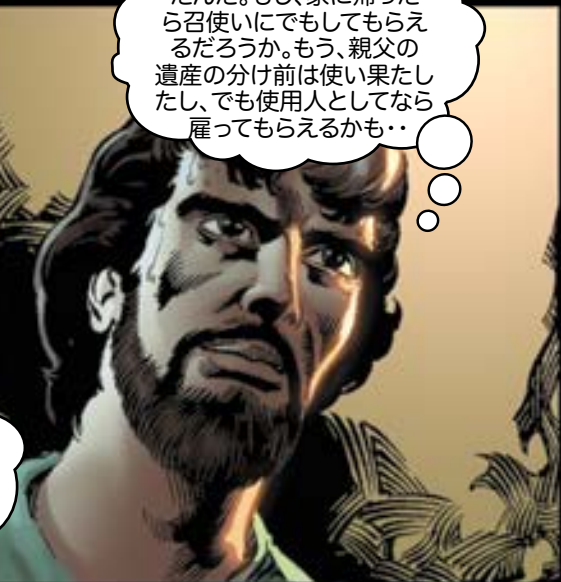


こんな給料じゃ食べていくにも一苦労だ。俺の「御友人方」は美味しい物を食ってるんだろうなあ。

俺はなんてバカだったんだ。もし、家に帰ったら召使いにでもしてもらえらるだろう。もう、親父の遺産の分け前は使い果たしたし、でも使用人としてなら雇ってもらえるかも…



こんな遠い所まで来て、一体俺は何をやってるんだろう。寒くて腹が減って、もうヘトヘトだ。親父の使用人でさえ、もっとマシな物を食ってるのに…。家に帰りたいなあ…。いや、ダメだ！今さら帰ることなんか出来るものか！笑われるのがオチだ。



よし、帰ろう！

バカやろう！金がないなら何キロメートルでも歩いて帰るんだな！



もうすぐだ。俺には家に入れてもらうどころか、こんなことを頼む権利もないが…。こう言おう「お父さん、私はあなたに息子と呼んでもらえる様な資格はない罪深い愚かな男です。でも、どうか、あなたの使用人として私を雇ってもらえませんか？」





幾分、年を取られ瘦せた様には見えますが、確かにあなたの息子さんですよ。



お父さん、私はあなたに対して罪深いことを...



こんな格好で家に入るのは嫌じゃろう。使用人に、お前にぴったりの服と靴を用意させよう。宝石も無くしておるな。新しいのが要るじゃろう。死んでしまったかと思っていたお前が生きていたとは、なんと嬉しいことじゃ。





一番肥えた子羊を締めて、祝宴の用意をして。客を招いて、この良き日を祝おうではないか!



この喜ばしい日を皆さんと一緒に祝うことが出来て、私はこの上なく嬉しい。息子は試練の旅から帰ったばかりで、未だ弱りきっておりますが美味しい物を食べると元気も出てこよう。今日は我が人生で最高に喜ばしい日だ!



数日間、留守をしていた上の息子が帰宅し、祝宴が行われていることに気付いた。

この音楽に踊りといいい体全体、何の騒ぎだ?

あなたの弟さんが弱り果てて帰って来られたんです。とてもやせ細って、無一文でお帰りになられ、お父様は家に迎え入れられました。さあ、あなたも早く祝宴へ!

バカバカしい! 今まで好き勝手に暮らしてきて…なんたる恥さらしなことを!

使用人が、彼の父親に上の息子が言ったことを告げたところ、父親が出てきて息子に言った。



長い間、あの子を探して、もう会えないんじゃないかと諦めようと思っていた矢先、あの子が道を歩いて来たんだ。こんな偶然、信じられるかね。神はなんと素晴らしいんだ!


あんな罪深い弟を迎え入れるなんて、私には信じられません。私は彼に関わりたくはありません。




なかなか、面白い話じゃないか。しかし、あなたは私共が、まるで上の息子の様だと言いたいのかね?

耳のある者は聞きなさい。





あの男は訳が分らん!何故、みんな信じるんだ。




出発しよう。ガリラヤに戻り、休みを取りましょう。私が捕らわれる日はやがて来ます。彼らは、私を嘲り十字架に張り付けにしましょう。しかし、私は三日目に死から復活するでしょう。

彼は人々に希望を与えてるんだよ。

師匠の言っていることはどういう意味だ?死から復活する?

分らないが、例え話かもしれないな。

ああ、でも見せかけの希望さ。罪人にも永遠の命だと?奴は殺されるべきだぜ。今夜、皆を集めて大祭司の家に集合だ。




先生、大変です!マルタに頼まれてあなたの方を探しに来ました。ラザロが病で死にそうなんです。確か、あなたは彼の親しいご友人ですよね。お急ぎになられましたら間に合うでしょう。あなたなら彼を助けることができます。


ラザロが病だと?急がねば……

マリアとマルタに、すぐに向かうと伝えてください。この病気は死で終わるものではなく、神の栄光のためのものです。

二日後



師匠、我らの友ラザロが死に瀕していると聞いてから丸二日です。彼の元へ辿り着くには、少なくとも二日はかかります。急がねばなりません。



師匠、もう四日以上経っています。もう間に合いません。

ラザロは亡くなっています。あなたがたのため、あなたがたが信じるためには、私がその場に居合わせなかったことを喜んでいます。

明日、出発しましょう。神の栄光を見るでしょう。

死んだ?ラザロが死んだんですか?





イエス様とお弟子様方が到着なさいました。

ああ〜、ラザロ!

いやあ〜!

その場を動かないよう伝えてください。パリサイ派や司祭達が揃っているので、今入って来るのは危険だわ。

なんと、ふびんなラザロよ!



イエス様、もう少し早く来てくださっていたらラザロは死ななかったはずですよ。あなたが祈れば、神は願いを聞いて下さるのではなかったのですか?

ラザロは甦りますよ。

ええ、最後の審判の時に復活するということは存じております。



わたしは復活であり、命である。

わたしを信じる者は、死んでも生きる。生きていてわたしを信じる者はだれも、決して死ぬことはない。このことを信じるか。

はい、イエス様、もちろんですとも。あなたは、預言された、世界を救う救世主様、そして神の子ですもの。



マルタはイエスと話し終えた後、使用人にマリアを呼びに行かせた。

悲しい別れをするために墓に行くのだろう。

おお〜!





主よ、何故もっと早く来てくださらなかったのですか。

ラザロをどこに埋葬しましたか？



ラザロを失って、どんなに悲しいか…。



イエス様はさぞ、お辛いだろうよ。

盲人は治せても、友人の命は救えなかったんだろ…うなあ。



石を退けなさい。

でも、イエス様、死んで四日も経つと臭いますよ。

もし信じるなら、神の栄光が見られると、言っておいたではないか。石を退けなさい。

父よ、わたしの願いを聞き入れてくださって感謝します。わたしの願いをいつも聞いてくださることを、わたしは知っています。しかし、わたしがこう言うのは、周りにいる群衆のためです。あなたがわたしを遣わされたことを、彼らが信じるようになるために。





ラザロ、出てきなさい。

死んで何日も経つんだぞ!

そうだ!なんとバカげたことを!



身体はもう腐りかけているんだぞ。

大勢の人の前でヘマをやらかした方が、却ってイエスを捕らえ殺すことが簡単になる。



な、なんだ!

ありえない!



神に栄光あれ!


うおお〜っ!




やったわ、マリア!さすがイエス様よ!

生きていた!死んで四日も経つのにラザロが生きていたなんて!







四日前に死んだラザロが、死んだ時のまま、全身を布に包まれた姿で墓から出てきたのだった。




布を解いて家に帰してやりなさい。




正に神の奇跡だ。




何なんだ、この騒ぎは？死装束など早く取ってくれ。




四日間、あなたは死んでいたのですよ。




師よ、お目にかかれて何よりです。あなたが私を甦らせて下さったんですね。




ああラザロ、あなたが戻ってくれて本当に嬉しいわ。




腹が減ったなあ。みんなを家に呼んで食事をしよう！




神のなせる業に栄光を！神よ、我らが主よ！



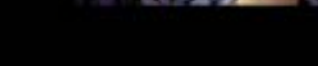
こんなこと信じられるか？インチキであんなことができる訳ない。この目でラザロが葬られるのを見たんだ！完全に死んでいたんだぜ。




イエスがとんでもないトリックを見せてくれたそうだ。あんな光景を人々が見たら、イエスはどんな死人をも生き返らせる事ができると思ってしまうだろう。



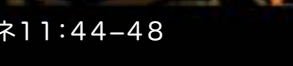
甦りの方法なんか知ったこっちゃない！こんな事が続けば、人々の気持ちはイエスに傾いてしまう。



パリサイ派と律法学者達に知らせなくては…




エルサレムの連中がこの事を知ったらイエスを王にするだろう。とにかく、早急に何とかせねば。




そんなことになったら、たちまち、ローマ軍が侵攻してきて我々の力も及ばなくなる。こんな騒動が起きているとは思っていないだろうがね。





問題は、イエスは暴力的でもなければ、ローマ軍に反抗した訳でもないということだ。


奴の言葉が問題なんだ。奴は我々を公の前で偽善者呼ばわりをしているんだ。我々はいいい笑いだ。バカにされるのがオチだ。



奴を何とかしなくては…。まさか、いくらイエスでも自分を甦らすことは出来ぬであろう。

彼が我々の信者を虐にする前に、早急に始末せねばなるまい。

ああ、ローマ軍が我々の元に来る前にな。



彼らは私を拒絶し殺そうとしています。私が救世主だと認めていないのです。私の亡き後、ローマ軍は彼らの抛り所である神殿を破壊します。神殿は石ころ一つ残さず破壊されてしまうのです。

私を愛し従ってくれた人々が捕らえられ、私を信じた為に国中の人から嫌われることもあるでしょう。また、家や仕事を奪われたり、中には命を奪われる人もいるでしょう。

そういうことが起こる前に、数々の戦争、地震、伝染病、飢饉、あらゆる種の大惨事が起こりますが驚いてはいけません。これで終わりが来た訳ではないのですから。

それらは始まりにすぎないのです。エルサレムは異邦人によって占領され、それは完全に包囲されるまで続きます。その時、もし誰かに、私が戻って来たから会いに行くようになどと告げられても信用してはなりません。救世主の振りをしたり、私が話しているように真似をする偽善者が数多く現れるはずですよ。

私が再臨する時は、全ての人に見えるように光の如く現れます。死者は再び生命を得、私は神の王国を築くでしょう。しかし、その前に地球が誕生してから、かつてなかった様な大きな試練を乗り越えなければならないのです。





先生、マルタ様が先生を探して来るようにとのことです。先生とお弟子様方を家にお迎えしたいと言っています。エルサレムにいらしては危険です。ラザロ様を甦らせて下さったことを快く思っていない者もいます。どうか、私共の処へおいで下されませんか。

喜んで伺いますよ。私は苦難を受ける前に、もう一度彼らに会いたいと思っておりました。



イエス様とお弟子様方よ。

先生、どうか我が家だと思ってくつろいでください。

我が友ラザロよ、この間より随分と元気になりましたね。あなたの墓に参るより、こうして顔を見られたことは何よりですよ。



ご馳走を用意いたしました。どうぞ楽しんで下さい。

主よ、あなたは復活と命です。



先生、信頼できる筋から耳にしましたが、ユダヤ人はあなたを強制連行し殺すことを企てているそうです。

私がこの地上にやって来たのは、私の命を世界に捧げるためです。捕らわれ十字架に張り付けられることは承知の上です。しかし、三日目には私は復活します。





あなたは復活と命です。あなたが滅びることはありません。信じております。



マリア、香油などで何をやる気だ？



我が主、復活と命であるイエス様。亡くなられても再びあなたとお会いしましょう。



マリア、一年分の賃金でも買えない様な、そんな豪華な香油を何故に無駄にする？

イエス様に塗っているんだ。

高価な香油なんだから、売って貧しい人の為に使うべきじゃないのかね？



マリアは自分の髪で、イエスの足の香油を拭いた。

マリアの意思を尊重しましょう。私が葬られる時の為にこうしてくれたのですよ。



葬られる？ どういうことですか？

苦難を受けられると聞いたであろう？死ぬこと自体の苦難という意味ではないのだ。



良き羊飼いは羊の為に生命を捧げると話しましたね。私は、拒絶され苦しめられ葬られますが、必ずや三日目に復活します。

マリアは私の葬りの準備をしてくれているのです。その時は近いのですよ。しかし、それは同時に、私が称えられる時でもあります。さあ、その時を迎えるべくエルサレムへ上っていきましょう。





先生、エルサレムの人々が、先生のお越しになるのを待っております。

私が乗れる様な口バを連れてきてください。エルサレムへ行くのは、これが最後になるでしょう。



先生、何千という人々がエルサレムで待っております。先生を王として迎え入れたいようです。

私は拒絶され、非難されてきましたが死より三日目には復活します。



万歳！ユダヤの王よ！

主の名のもとにイエス様に祝福を！

ダビデの息子に栄光あれ！




イスラエルの王のお通りだ！

神を褒め称えよ！

約束されし救世主よ！






ダビデの息子よ、私達をお救いください。

みんな、イエスのことをイスラエルの王などと呼んでおると命が危ないと

人々はイエスが約束されし救世主だと思っているんだ。

いう時に、よくも堂々と神殿に来られたものだな。




神の家である神殿が、まるで市場のようじゃないか！

お安くしておきますよ。生贖用に認可されたものです。

残念だが、この値で納得してもらえないなら他をあたってください。私にはこれ以上は無理ですな。





イエスは再び、この盗人と悪人ばかりの神殿を一掃した。

私の父の家で商売をするとは何たる侮辱。お前達は盗人と盗賊の集団だ!

よくも祈りの為の場を汚してくれたな。金と共に地獄へ墮るがよい!

お前は何者だ!


私の父の家を強盗の巣にするのではない!

何ということをしてくれたんだ!

気をつけろ!

ドーン!

ガツンヤ〜ン!



師匠、パリサイ派が見張っています。彼らは、やがて来る過越し祭の前にあなたを亡き者にしようと企んでいるという噂があります。

エルサレムに勝利の入城を果たしておきながら、奴が神殿を一掃する意味は一体何なんだ!

何度もいう様に、私は彼らの手により苦難を受け、しかし三日目には復活します。

ああ、全くだ。預言の書には「神の家を思う熱意が私を食い尽くす」とあり、救世主は突然神殿に現れるとも書いてあるのだ。その人こそが救世主だとな。

過越し祭の前には止めざるを得ないさ。奴の使徒の中にスパイを送り込んでおいたからな。



いいですか、私の亡き後、彼らはあなた方を捕らえ鞭で打ち、もしくは殺されてしまう者もいるでしょう。あなた方は私の愛と力の証人となります。裁きの場に連れて行かれるならば、あなたの口を借り私が言葉を教えましょう。子供達が両親に対して、訴えを起こしたり、またその逆もあります。あなた方は私に従った為に憎まれます。偽の預言者が数多く現れ、救世主の如く主張するでしょう。しかし、聖なる御霊はあなた方と共にいます。

最後の裁きの日に、あなたがこの地上に戻れるという前兆はあるのでしょうか？

誰もが、さも事実の様に私が戻って来たとか、あの場所にいるとか言っても惑わされてはいけません。私が戻る時は、まるで稲妻の如く現れるでしょう。私を信じていれば、最後の審判の時に必ずや救われます。私が戻るまで、その時がいつか誰にも分かりません。

その日はノアの時の様なものです。人々は、日々の生活や楽しみで忙しく、まさか洪水が起こり全てを流してしまうなどと知る由もなかったのです。例えば、私は夜中に忍び込む泥棒の様に、突然戻ってきます。

師匠、私は人に会いに町に行かなくてはなりません。すぐに戻りますので。

二人の男が作業していると、一人は私に救い出され一人は取り残される。

あるいは、二人の女が一緒に粉を挽いている時、一人は私に救い出され、もう片方は取り残される…その様なものです。とにかく、決して疑いを持たず、私が再び戻ってくる日を気をつけて見ていなさい。

ユダ、しようとしていることを、すぐしなさい。


イエスを連れて来てやるよ、いくら出す？

ユダ、しかしお前はイエスの弟子であろう？


神の栄光に包まれる日が来ました。小麦の粒は地面に落ちてしまわなければ、ただの一粒の小麦ですが地面に落ちれば、数多くの実をつけます。

ああ、三年間一緒にいたよ。でも、もう愛想が尽きたんだ。イエスは頭がおかしいのさ。俺は金が欲しいんだ。







私の心は今、困っています。何と  
言うべきか…「天の父よ、私をお救い下さい」  
と言うべきでしょうか。いいえ、私は今日、  
この日の為に地上に来たのです。



父よ、御名の栄光  
を現してください。



わたしはすでに  
栄光を現した。  
わたしは再び栄光  
を現そう。



神のお声だ！  
イエス様にお  
答えになって  
いる！


まるで雷鳴  
のようだ！

天使がお答  
えになった  
んだ。

この声が聞こえたのは、  
わたしのためではなく、あなたが  
たのためです。今、この世に対する  
さばきが行われ、今、この世を支配  
する者が追い出されます。わたしが  
地上から上げられるとき、わたしは  
すべての人を自分のもに  
引き寄せます。

私を、そして私の成すことを拒絶する  
人は、神をも拒絶することと同じです。  
私は世の光であります。私を信じる人  
は、暗闇の中で迷うことなく永遠の命  
を得ることが出来るのです。

私達知っている  
ことは、預言書の中では  
救世主は永遠に生き続ける、  
ということです。でも、あな  
たは死んでしまうとおっし  
やる。では、救世主とは  
一体誰なのですか？



しばらくの間、光はあな  
た方と共にいます。その光  
とは私です。どうか、光を信  
じ神の子となりなさい。

俺には、さっ  
ぱり理解でき  
ないぞ。